

ちゅ ちむ美らさ

第113号

発行: 北部農林水産振興センター
農業改良普及課

住所: 沖縄県名護市大南1-13-11

電話: 0980-52-2752

FAX: 0980-51-1013



第32回 土壌保全の日 開催!

～次世代に残そう! 農地はうまんちゅの宝～

北部地域農林水産業推進会議(会長: 喜屋武盛人センター所長)は、「農業生産活動の現場から土壌の流出を未然に防ぎ、地力低下の防止、環境保全を図るため、「土壌保全月間」を設置し、土壌保全関連行事を通して農業生産者の意識啓発と関係者相互の連携を図る」ことを目的に、第32回 土壌保全の日を金武町の協力の下、実施しました。

日時: 令和4年 6月 2日(木) 13:30~15:00

取組:

場所: ①金武町立武道館
②金武町金武ほ場

内容: ①赤土流出防止等講習会

講師: NPO法人グリーンネットワーク理事長 西原隆 氏

②グリーンベルト(ベチバー)植栽

作業: 講習会参加者(雨天により6月8日に実施)

目次

1P・土壌保全の日 開催

2P・熱中症対策

・カボチャ対策

3P・マンゴーコンテスト受賞

・パイナップルの夏植え

4P・雑草アザガオ対策

(サトウキビ畑)



主催者あいさつ
(喜屋武会長)



開催地あいさつ
(池原副町長)



赤土流出防止等講習会
(グリーンネットワーク理事長 西原隆氏)



グリーンベルト植栽作業の様子
株間25cmの2条千鳥植え



8ヶ月後の成長イメージ
赤土の流出を防ぐ

ベチバーの特徴

- ①栽培が簡単
- ②雑草化しにくい
- ③トラクタ踏み付け可
- ④敷草への活用可
- ⑤ドリフト防止効果

(担当: 新城孝始)

農作業中の熱中症が増えています

農作業中の熱中症による死者数が急増しています。

夏期の高温は危険です。命を守るためにも、農作業中は、「**熱中症対策**」をとって下さい。

【基本的な熱中症対策】

- 気温が高い時間帯の農作業を避ける
- 農作業前・作業中に、水分や塩分を補給し、こまめに休憩を取る
- 熱中症を予防するグッズ等を活用する
- 1人での作業を避ける

もしも、農作業中に体調が悪くなったら・・・

すぐに作業を中断し、応急措置(涼しい場所に避難・服を緩める・水などで体を冷やす・水分補給等)を行い、

改善しない場合は、まよわず病院へ行きましょう



カボチャの季節風対策について

～ソルゴーは9月までに、は種しましょう～



季節風対策された畑

冬春期の強い季節風は、葉を傷め、葉の枯れ上がりの原因となります。

果実の小玉化や日焼け、完熟しない等の品質低下を防ぐため、防風ネットやソルゴー等による防風垣の設置が必要です。



季節風による葉の被害

季節風対策

- 防風垣は、防風ネットやソルゴー、サトウキビなどを用いる
- 1.5～2mの高さが必要
- ほ場周辺や北側に設置する
- 収穫まで、防風ネットは外さない。ソルゴーを刈り取らない

【ソルゴー設置のポイント】

- 十分な高さを確保するためソルゴーのは種は、9月までに行う
- は種した後は、覆土・鎮圧を行う
- 土壌pHが低い場合、炭カルなどで矯正し、生育を良くするため肥料を与える
- 倒伏や雑草化を防ぐため、ソルゴーの穂は刈り取る



ソルゴーによる防風垣

ソルゴーは、うね毎に植え付ける

沖縄県マンゴーコンテスト受賞者紹介

令和4年7月8日に第15回目マンゴーコンテストの表彰式がありました。今期は、5～6月の日照不足等の影響もある中、30名の生産者から高品質のマンゴーが展覧されており、北部地区からも、1名の生産者が見事受賞しました。



優良賞
大城大輔
 (サンライズファーム)
 宜野座村
 栽培歴16年

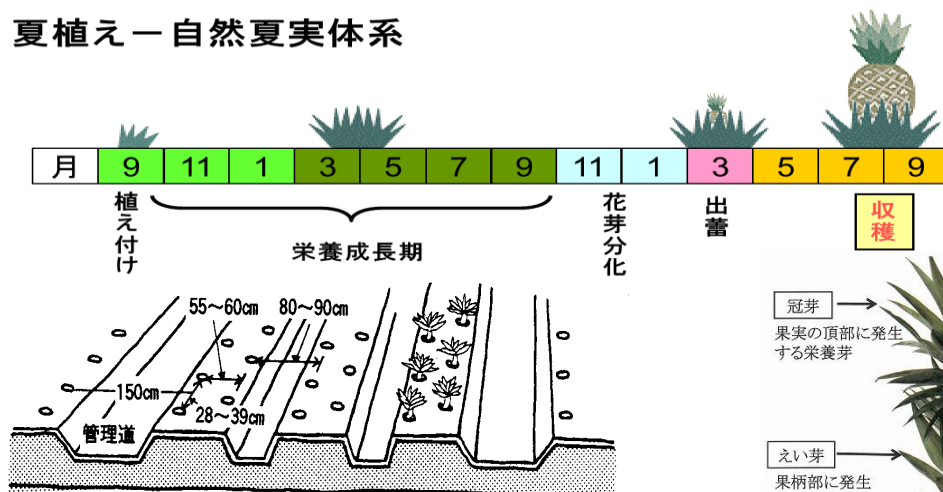


(担当: 仲宗根)

パイナップルの夏植えについて

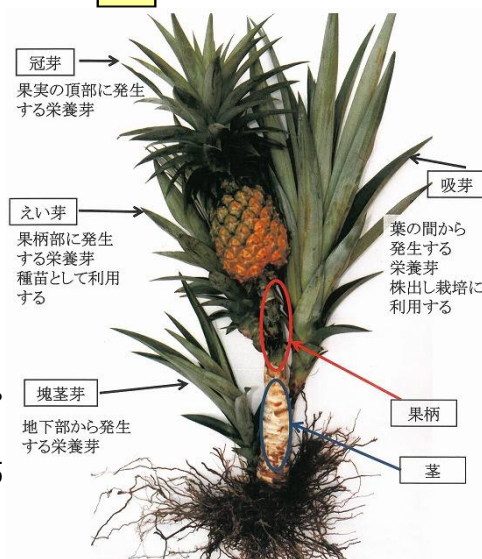
パイナップルはpH4.5～5.5の排水性のよい土壌で良く育つ、北部地区の国頭マージ地域に適した作物です。9月いっぱいには200g～300gの苗を定植すると生育も順調です。初期生育はゆっくりなので雑草にまけないよう除草管理をしましょう。

夏植え－自然夏実体系



基肥はパイナップル肥料(12-3-12)を30g/本、追肥は株元に3月、6月は20g/本、9月は30g/本施用します。

パイナップルは追熟しません。県外出荷の場合は日持ちを考えて3分熟程度で収穫します。沖縄で食べる完熟パイナップルは格別においしいですよ。



(担当: 儀武)

サトウキビ畑の雑草アサガオ防除について

アサガオ類雑草(帰化アサガオ)は作物に巻き付いて生育を悪くし、一度畑に侵入すると完全防除が難しいことから、**日本全国で問題になっています**。サトウキビ畑では主に下の3種類のアサガオが多く見られます。

これら**アサガオ防除のポイント**についてお伝えします。



防除してるけど
生えてくるんだよ



ホシアサガオ

- 花はピンク色で小さい
- 1節に3～5の蕾



ネコアサガオ

- 花は白色で小さい
- やや毛が目立つ
- 1節に1～3の蕾



ノアサガオ

- 花は青～赤紫色で他の2種より大きい
- 1節に1～3の蕾

雑草アサガオの特徴

①年中発芽する

アサガオ類雑草の種子は10～15℃で発芽可能のため、沖縄では年中発芽することができます。また、休眠種子はロータリー等で種皮に傷がつくと、そこから吸水し目覚めます。そのため、何回防除しても発生してくるようになると感じると思います。

②長期間花をつける

アサガオ類は日が短く(夜が長く)なる9月頃から花芽を持ち、3月頃までは花を咲かせ種子をつけます。その期間で防除しそこねたアサガオがあると、たくさんの種子が生産され、これまでの防除が無駄になってしまいます。

③種子の寿命が長い

硬い種皮に守られることで数十年間土に埋まっても発芽してきます。



これは・・・
タネをつけ
たら長い闘い
になるぞ・・・

防除のポイント



- ①花をつける前に防除して絶対にタネをつかせない!
- ②防除の後、特にロータリー後は再発生を確認する!

花を咲かせない防除を繰り返せば**アサガオは必ずなくなります**。ある程度の時間はかかりますが実践しましょう!!